

4. 職種等	5. 校種	6. 職場実態をふまえた「学校の働き方改革」に関するご意見（200文字以内）	
1 教員	高校	学校毎を業務を点数化して、全ての職員が同じくらいの点数になるよう業務分担するのが良いのではと思います。フレックス制度を導入し、部活での長時間労働を調整するのも良いと思います。	匿名希望
2 教員	小学校	授業で扱うべき内容が多すぎる。報告する書類、会計など子供のこと以外の仕事負担を軽減してほしい。先生たちが受けてきた教育や教えてもらってきた指導の仕方バイアスがあるため、「こうあるべき」が多く、変えていくのはかなりの対話が必要。1つずつの取組（行事、掃除、宿題など）の目的を問い直したいが、日々仕事に追われすぎて大事なことを話し合う時間を生み出しにくい。年間6時間目カットなどして時間を生み出したい	taka先生
3 学生	中学校	先生方がよく、「残業代が出ない」や「サビ残ばっか」と嘆いていて、「先生にはなるな」と私たちに伝える始末です。いつになったら先生が安心して働けるようになるのか。とにかく負担を減らしてください！	ともにミライへ
4 養護教員	中学校	今、育休をいただいています。自分の子どもと一緒に過ごせる幸せをかみしめています。職場復帰も考えていますが、今のような定額働かせ放題の現状があると、復帰に不安があります。誰が我が子を保育園に迎えに行き、誰がその後のお世話をするのでしょうか。定時で帰れる制度を確立していただきたいです。	匿名希望
5 教員	中学校	これまでよりも、業務の効率化を良くいわれるようになりました。しかし、大元の「仕事の多さ」が変わらないため、成果は出ていません。田舎のせいか、部活動の外部委託もほとんど話題にあがりません。まずは、トップダウンで「この仕事は教員は関わってはいけない」という強力な通知を出して欲しいし、守れない自治体には強制力を持った指導をして欲しいです。	匿名希望
6 教員	小学校	学校は昔より丁寧な対応が求められています。特に特性のある子どもへの対応です。それは正しいことだと思います。けれど、人が足りません。今の定数は、問題のない子どもと休まない教職員とで成り立つものです。ちょっとでも何かあれば破綻してしまうのです。あと、やってますアピールの学力テスト、4点セット、教育事務所の締め付け、やめてほしいです。退職が近いですが、もう学校で働きたいとは思いません。	匿名希望
7 教員	小学校	私たちの市では、夏休みが短くなっている。お盆の前後で夏季休暇や厚生休暇がとれるが、それ以外の日に年休が取りにくい。2学期になると作品応募などしながら、授業準備をしないといけないから業務改善になっていないと感じる。子ども達もクーラーはあれど、暑い中登下校したり授業をしないといけない。また、成績業務がさらに煩雑になりそう。代替りの業務改善が示されない。	匿名希望
8 教員	特別支援学校	部活動がない特別支援学校。それでも仕事は雪だるま式に増え、しわ寄せは若い職員に。障がい児をめぐる社会の状況は厳しくなっており、家庭対応が難しいケースが増加。多忙で同僚性も薄れ結果、若い職員が心を病んだり、退職したり。持続不可能。一刻も早く労働時間の規制と業務削減のルール作りを！	匿名希望
9 教員	高校	業務の主體的な団体が異なる仕事をやらない方が良いと思う。周年行事、同窓会、高体連、全国商業高等学校協会みたいな団体の仕事を学校現場に持ち込まないで欲しい。	匿名希望